

## 平成29年度 第3四半期 指摘事項一覧

原子力事業所又は原子力施設名: 東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所

作成責任者 統括原子力運転検査官 小林 隆輔

番号	指摘日	事務所 担当者	事業者 対応者	指摘(要旨)	事業者 回答日	事業者の処置状況
1	平成29年12月13日	小林 久我	発電所長	<p>平成29年11月20日に「2号機原子炉格納容器ガス管理設備の運転上の制限逸脱事象」、11月27日に「3号機使用済燃料プール循環冷却設備一次系ポンプ停止事象」等、過去に福島第一原子力発電所で発生した不適合事象と同様の要因と思われる事象が繰り返し発生している。これらは、安全確保設備等の近傍での現場作業時の不備に起因したものである。</p> <p>については、実施計画に基づく予防処置の取組みが適切に機能しているか再点検するとともに、安全確保設備等の停止等を引き起こす可能性のある現場作業時のリスクを予め抽出し、運転管理及び作業管理の両面から対策を講じることで、運転管理上のリスクの顕在化を防ぐため「予防処置の取組みに関する再点検結果」及び「安全確保設備等の近傍において計画している現場作業を対象として、安全確保設備等の停止等を引き起こす可能性のあるリスクを抽出し、その対応についての検討結果」について回答することを指導文書として発出した。</p>	—	対応中
2	平成29年12月26日	小林 橋野 松本 坂本	発電所長	<p>平成29年12月26日に12月17日から12月23日の巡視記録を確認した際、平成29年12月21日に発生したH9タンクエリアに設置されている雨水回収タンク内の水を移送するホースから移送水が漏えいした事象が記録されていなかった。</p> <p>移送ホースは、本設移送ホースであり、関係者への情報の周知徹底を確実にするため、設備処置状況等について記録を残すべき旨を指摘した。</p>	—	対応中
3	平成29年12月27日	小林 久我	発電所長	<p>平成29年12月18日、1号機タービン建屋内の高台炉注水ラインFDW流量計バイパス弁の弁ハンドルが、固縛等の適切な措置がなされないまま配管に立てかけてある事象が確認された。当該弁ハンドルは汎用品であるため、他の弁も容易に操作可能な状況であった。</p> <p>誤操作等防止のために厳重に管理すべきものにもかかわらず、管理されない状態で放置されていたことは、実施計画に基づく保安活動が適切に機能しているとは言いがたい。</p> <p>よって、「運転上の制限に係る系統における弁ハンドルの管理状態に関する総点検結果」及び「本事案の原因究明及び再発防止対策の検討結果」について回答することを指導文書として発出した。</p>	—	対応中